

川崎市市制100周年記念事業実施計画 「Colors, Future! Actions プラン」 素案



川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

1 計画の概要

2 事業推進計画

3 広報計画

4 資金計画

5 実施体制等

【別紙】 事業一覧

【参考資料】 アイデアの種

1 計画の概要

- (1) 計画の目的と位置づけ
- (2) 計画の体系
- (3) 基本理念
- (4) 基本方針
- (5) 実行委員会の設立
- (6) コンセプト
- (7) プラットフォーム:「Colors,Future! Actions」
- (8) プラットフォーム・ステートメント
- (9) 15のActionテーマ
- (10) Actionテーマ使用イメージ
- (11) 記念事業ロゴマーク
- (12) 記念事業期間
- (13) 時期ごとの目的・事業

(1) 計画の目的と位置づけ

川崎市は、大正13(1924)年に川崎町と大師町、御幸村の2町1村の合併により市制が施行して以来、令和6(2024)年7月1日に市制100周年を迎えます。

人口約5万人から始まった川崎市は、政令指定都市として6番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

市制100周年という歴史的な節目に向けて、川崎市全体を盛り上げ、市制100周年記念事業を一過性のイベントとせず、「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな企業、団体、市等のオール川崎市で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を令和4(2022)年9月に設立しました。

この川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors, Future! Actions プラン」は、これまで策定した「川崎市市制100周年記念事業の基本的な考え方」と「Colors, Future! Actions ガイド(川崎市市制100周年記念事業基本計画)」を踏まえ、記念事業を進めるにあたっての各種計画や実施される事業などをまとめたものです。

今後、この実施計画に基づき、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ取組を推進し、多様で多彩な記念事業を展開していきます。

※「全国都市緑化かわさきフェア」については、緑化フェア幹事会を中心に別途、基本・実施計画を策定します。

(2) 計画の体系

川崎市策定

令和4(2022)年3月

基本的な考え方

- ・基本理念及び基本方針の策定
- ・実施期間の設定及び実施体制の構築



令和4(2022)年9月

基本計画

(Colors, Future! Actions ガイド)

- ・コンセプト及びプラットフォームの策定
- ・ロゴマークの策定
- ・事業展開(15のActionテーマ)の設定

令和5(2023)年3月

実施計画

(Colors, Future! Actions プラン)

- ・事業推進計画
- ・広報計画
- ・資金計画
- ・実施体制等
- ・事業一覧 ※随時更新

川崎市市制100周年
記念事業・全国都市
緑化かわさきフェア
実行委員会策定

※実行委員会で順次取組を進め、「実施計画」については、令和5年度末を目途に改定を行います。

(3) 基本理念 (「基本的な考え方」より)

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとします。

(4) 基本方針 (「基本的な考え方」より)

(1) 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

川崎市ブランドメッセージは、川崎市の多彩な魅力を一言で表現し、都市の将来像を示すものとして、平成28(2016)年に策定し、市制100周年を見据えて活用してきました。

市制100周年を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起し、改めて共有します。

(2) 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

川崎市が誇る魅力や価値などを、市制100周年を契機にさらに発展させるため、さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント(行動)を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり」分野については、これまでの歴史や強み等を振り返りながら市民の皆さんと一緒に考えて行動し、新たな文化を醸成するきっかけとして、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を発信します。

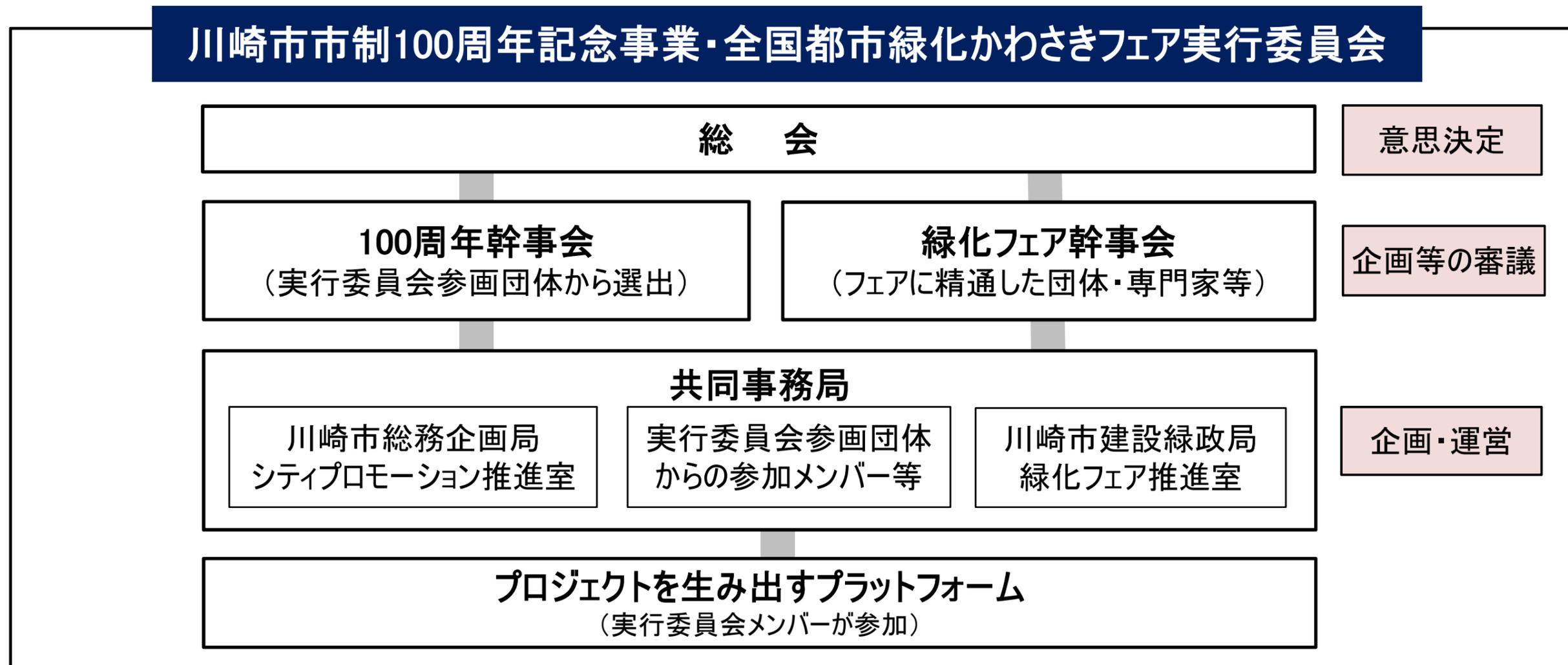
(3) 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

川崎市が市民にとって安心して居心地のよい場所となるよう、記念事業を川崎市が誇る魅力や価値などに触れて再認識する機会とし、市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド(川崎への愛着と誇り)の醸成を図ります。

(5) 実行委員会の設立

市制100周年という歴史的な節目に向け、オール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業・団体・市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立しました。

市制100周年の象徴的な事業として令和6(2024)年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」と合同の実行委員会とし、一体的に展開していきます。



実行委員会には「幹事会」「共同事務局」を設けます。

「共同事務局」で企画し、各幹事会で審議しながら、さまざまなプロジェクトを生み出していきます。また、実行委員会参画団体が参加する「プラットフォーム」を活用して、プロジェクトの熟度を深めていきます。

(6) コンセプト (「基本計画」より)

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が、「あたらしい川崎」を生み出していくという市制100周年記念事業を体現することから、記念事業のコンセプトを「Colors,Future! いろいろって、未来。」と決めました。

コンセプトの実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

(7) プラットフォーム:「Colors,Future! Actions」 (「基本計画」より)

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。



(8) プラットフォーム・ステートメント (「基本計画」より)

「Colors,Future! Actions」をさまざまな主体が一体となって推進するために、ステートメントを設定しました。ステートメントを通じて、一人ひとりの好きを掛け合わせることで、多様で多彩な「Action」を記念事業で生み出していくための想いを共有していきます。

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。

ひとりひとりの“好き”をつなぎ、掛け合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

(9) 15のActionテーマ (「基本計画」より)

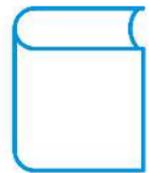
「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。





ACTION 01
グリーン・コミュニティ

みどりを増やすのみならず、みどりと人の多様で新しい関係づくり。都市環境整備の活動など。



ACTION 02
ブランディング

川崎ブランドを伝えるメディアの開発や、新たなスーベニアの開発など。



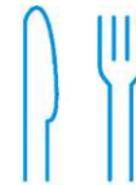
ACTION 03
ビジネス・インキュベーション

企業支援・研究開発（スタートアップ支援・量子コンピューターネイティブの育成など）



ACTION 04
ネクストジェネレーション

ブレイキンやBMX、スケートボードなど若者文化を広める活動や、若者のアクションを応援する活動。



ACTION 05
名物フード

ダイバーシティを体現するソウルフードの開発。フードロスアクションの推進など。



ACTION 06
チアアップ

シニア・健康・子育てなどを応援する活動。



ACTION 07
ナイトタイムエコノミー

ナイトマルシェの開催や、夜でも安全に楽しめるパークの整備など。



ACTION 08
サステイナブル

環境・臨海部に関する活動。脱炭素の取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに関する取り組み。環境技術など。



ACTION 09
イベント・祭

フェスの開催や、地産地消マルシェの推進、ハロウィンに続くシンボルイベントの創出など。



ACTION 10
Well-being

健康福祉。コミュニティへの参加や憩いの場の創出など。



ACTION 11
グローバル

インバウンド向けの情報発信、コト消費の開発、在住外国人との交流支援など。



ACTION 12
アート&ミュージック

文化・音楽に関する活動全般。アートのDX推進。新たな表現スペースの創出など。



ACTION 13
スポーツ

サッカーやバスケットをはじめとする、スポーツに関わるもの全て。



ACTION 14
学び

まちの歴史探求や工場見学といった学び体験やコンテンツなど。



ACTION 15
安全・安心

防犯や地域の見守り、災害への備えといった安全・安心のまちかわさきへの取り組みなど。

(10) Actionテーマ使用イメージ (「基本計画」より)

生み出されたさまざまな「Action」には、関連するActionテーマをラベリングし、テーマごとにまとめて、実行委員会公式WEBサイト等で分かりやすく発信します。

なお、市民等はラベルにより自分の興味があるActionを検索して、参加・体験することができます。

周知

- ・記念事業プラットフォーム「Colors, Future! Actions」と併せて、HP・ポスター・メディア等の媒体を通じて使用イメージを周知し、市民総参加型で取り組みの方向性を共有する

事業企画

- ・実行委員会・市民等が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか、Actionテーマを踏まえて企画・検討
- ・生み出されたさまざまなActionについて、関連するActionテーマをラベリング
- ※複数のテーマが関連するActionについては、一つのActionに対して複数のテーマをラベリング

【●●プロジェクト】



【××プロジェクト】



【▲▲プロジェクト】



発信

- ・さまざまなActionの周知の際に、Actionテーマのラベルを配布して発信
- ・テーマごとにまとめ、わかりやすく発信(公式WEBサイト・パンフレット等)

参加・体験

- ・市民等はラベルにより自分の興味があるActionを検索して参加・体験

(11) 記念事業ロゴマーク (「基本計画」より)

記念事業のコンセプトでもある川崎市ブランドメッセージのロゴマークと一体的に使用できる記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」のロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広くPRします。



(12) 記念事業期間 (「基本計画」より)

令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6(2024)年4月1日から、令和7(2025)年3月31日にかけて実施します。

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて川崎市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を行います。

(13) 時期ごとの目的・事業 (「基本計画」より)

記念事業期間の令和6(2024)年度だけではなく、それ以前の準備期間からも市制100周年に向けた各取組を通して、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

準備期間におけるPR事業やActionを特に区別して呼ぶ場合は、「プレ事業」とします。

	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction(単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

2 事業推進計画

- (1) 市制100周年記念事業に取り組む視点
- (2) 記念事業の分類
 - ・具体的なプロジェクト(事業)のイメージ
- (3) ① 実行委員会主催事業について
 - ・実行委員会主催のプロジェクトの実施
 - ・市民、企業、団体等の機運醸成
 - ・広報等の実施
- (4) ② 川崎市主催事業について
- (5) ③ 実行委員会参画団体主催事業について
- (6) ④ パートナー主催事業について
 - ・パートナー制度について
- (7) 事業の展開イメージ
- (8) 市制100周年記念式典・全国都市緑化かわさきフェア
- (9) 事業展開のスケジュール

(1) 市制100周年記念事業に取り組む視点

基本理念や基本方針、コンセプトを踏まえ、次の100年に向けた多様で多彩なActionを生み出していくにあたり、次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していききっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

(2) 記念事業の分類

記念事業は、大きく分けて、以下の4つの事業により実施していきます。
それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

	①実行委員会 主催事業	②川崎市 主催事業	③実行委員会 参画団体主催事業	④パートナー 主催事業
事業 主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画企業等	趣旨に賛同する 市民、団体、企業等 (実行委員会非所属)
実行 予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th



③実行委員会参画団体による事業

①実行委員会主催事業



②川崎市主催事業

④パートナー主催事業

具体的なプロジェクト(事業)のイメージ

市民・企業・団体など多様な主体が関わりながら、多くの市民が川崎を好きになるきっかけとなる事業を創出し、それが文化として続いていくような事業を展開していきます。

「スポーツ」「フード」「チアアップ」など、複数のActionテーマが関連するような事業を数多く生み出していきます。

地域のこどもの笑顔を守るフードアクション

川崎フロンターレ・市内企業等との連携による「かわさき子ども食堂ネットワーク」への支援



花を贈り合う行動が文化に

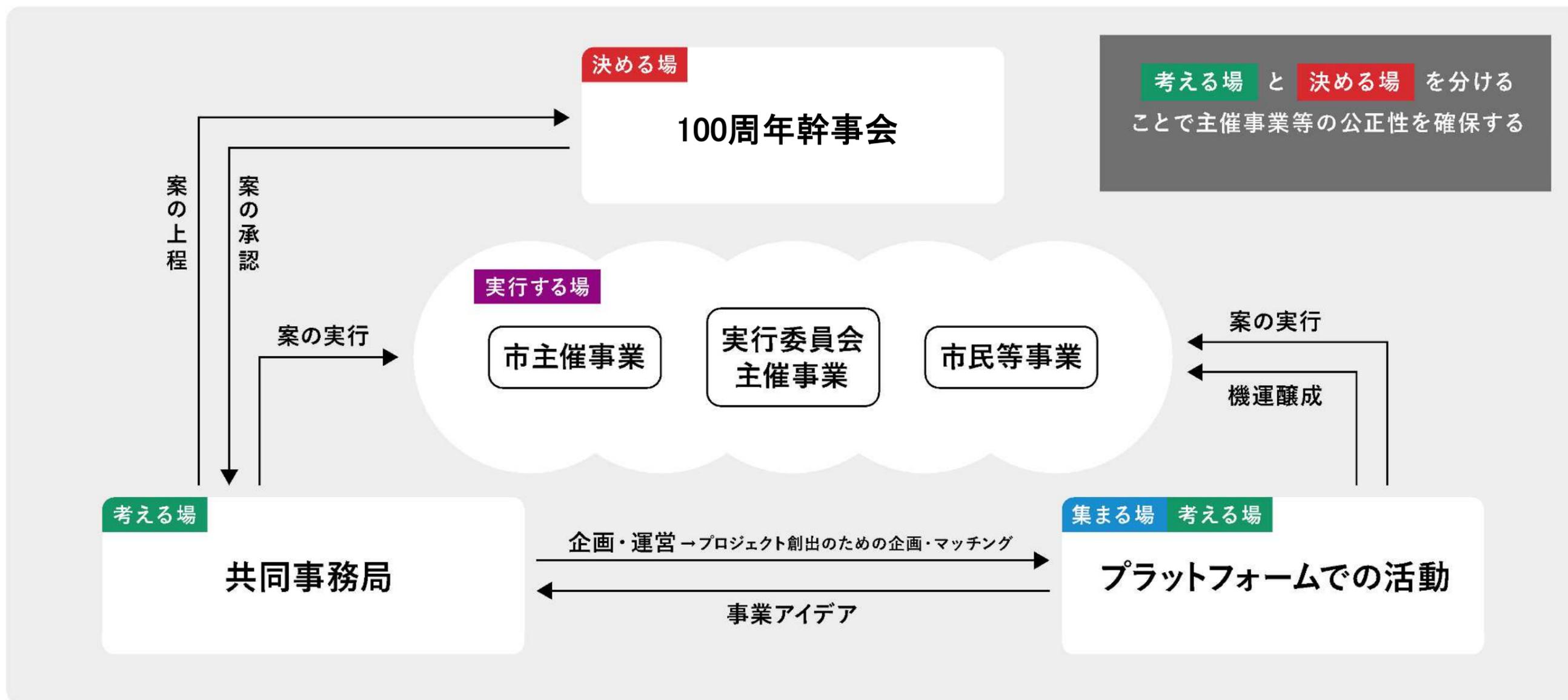
フ+レリウム at 溝の口



(3)① 実行委員会主催事業について

実行委員会では、さまざまなプロジェクトの創出に向けた企画・運営を行います。

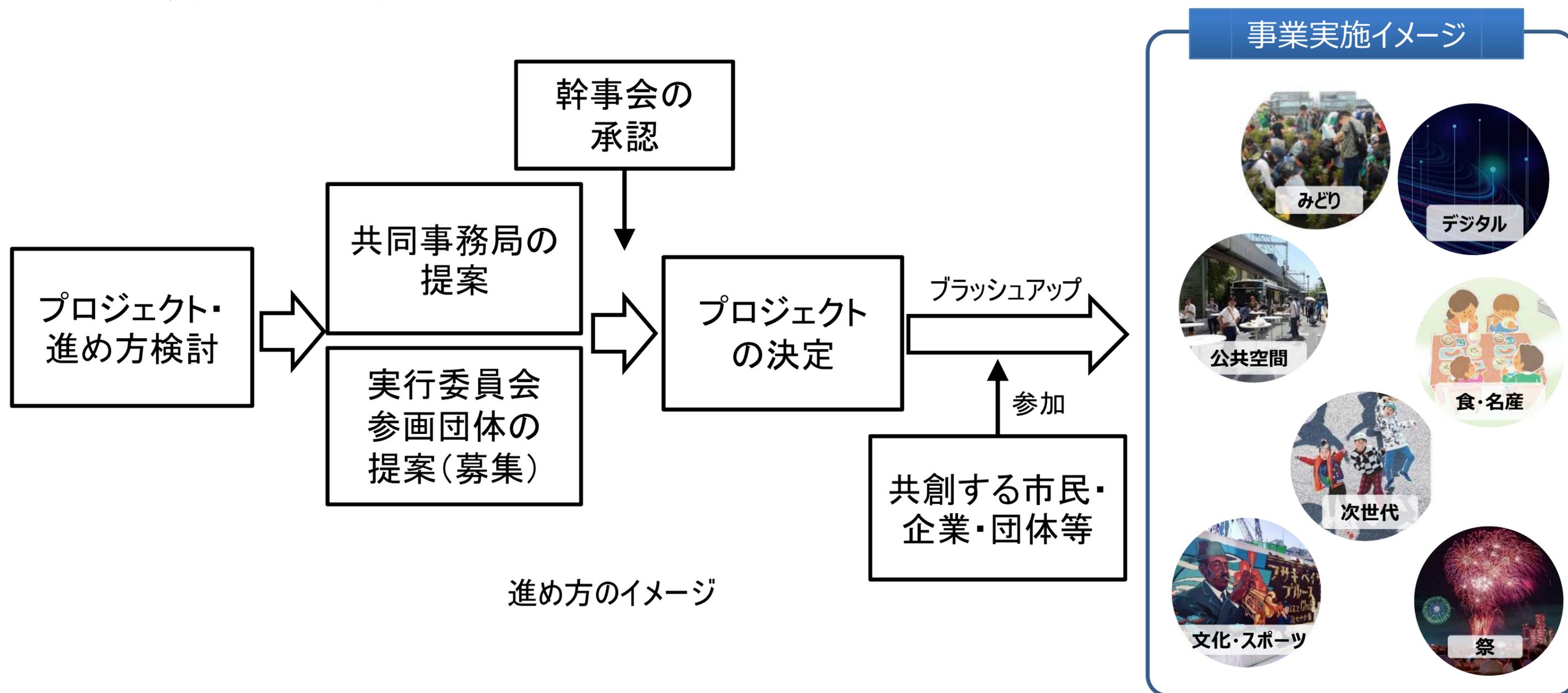
『考える場』である「共同事務局」と実行委員会参画団体等の「プラットフォーム」において検討を進め、『決める場』である「幹事会」の承認を経ることで、事業実施の公正性を確保しながら事業を推進します。



実行委員会主催のプロジェクトの実施

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施します。

共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討していきます。
また、市民・企業・団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、「Colors, Future! Actions」を体現する取組を展開していきます。



進め方のイメージ

事業実施イメージ



市民、企業、団体等の機運醸成 1

実行委員会が主体となってセミナーやフォーラムを主催し、実行委員会参画団体の主体的な取組を促進するとともに、市民、企業、団体等の「Colors, Future! Actions」への参加を促します。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・市民、企業、団体等が参加・発表、誰もが楽しめる場として、「フェス&カンファレンス」を企画・実施します。
- ・「Colors, Future! Actions」を促すさまざまなセミナーや交流イベントなどを開催します。



フェス&カンファレンスの実施



セミナーや交流イベント等の実施

市民、企業、団体等の機運醸成 2 (フェス&カンファレンス)

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、また、川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる場として、「フェス&カンファレンス」を開催します。

「フェスティバル」: 既存のイベントとも連携しながら、生み出されたさまざまな事業を一体的に展開します。

誰もが楽しめるイベントを展開し、記念事業の機運醸成・盛り上げにつなげていきます。

「カンファレンス」: 「あたらしい川崎」を考えるきっかけとして、発表やトークセッション、講演会などを実施します。

※「フェス&カンファレンス」イメージ

COLORS, FUTURE! ACTIONS 2023

創出された事業



既存イベント



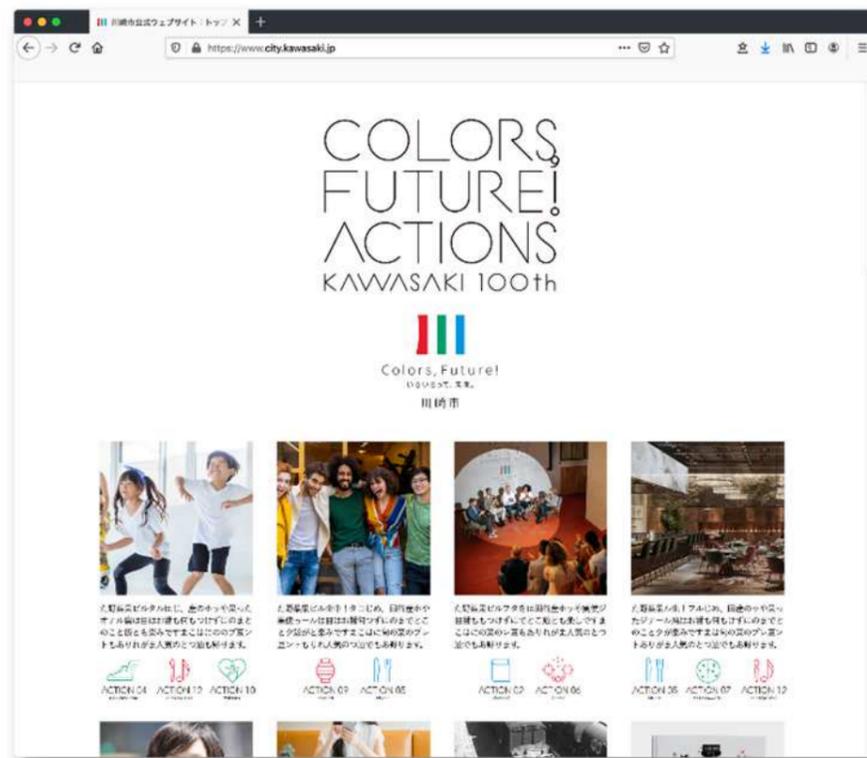
カンファレンス



- ・令和5(2023)年度はプレ事業として実験的に開催し、令和6(2024)年度の本格開催を目指します。
- ・令和7(2025)年度以降も継続できるように、スポンサー収入の一部導入を行います。

広報等の実施

共同事務局を円滑に運営しながら、実行委員会が主体となって、情報発信の旗艦である「市制100周年記念事業公式WEBサイト」の運営、イベントレポートやニュースレターなどの定期的な発信、さまざまな媒体を通じた記念事業の広報により、市民、企業、団体等の認知・理解を図り、「Colors, Future! Actions」への参加を促します。



公式WEBサイトの運営



ニュースレターやさまざまな媒体を通じた
広報の実施

(4)② 川崎市主催事業について

川崎市が主体となり、さまざまな施策に取り組む中で記念事業を実施します。

- ・川崎市の各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・実行委員会では、事業によっては川崎市の各局区の事業と効果的な連携を図ります。

【参考：令和5年度の取組】(59事業) 【別紙】事業一覧参照

○「機運醸成に向けたPR事業」の推進 (8事業)

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図る取組

○「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 (25事業)

- ・障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など

○「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進 (16事業)

- ・これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など

○「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 (10事業)

- ・子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



現場見学会



バリアフリーなスポーツ大会



公共空間を活用した体験



デジタルアーカイブの開設



「みどり」でつながる様子

(5)③ 実行委員会参画団体主催事業について

実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図ります。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・実行委員会参画団体が相互に交流し、共創につながるイベントなどを定期的に行います。
- ・公式WEBサイトなどにより、取組状況が把握できる仕組みをつくとともに、効果的にPRをします。
- ・記念事業を検討するヒントとなるよう、「アイデアの種」や事業の取組状況などのさまざまな情報について、実行委員会公式WEBサイトやメールマガジンなどを通じて提供していきます。 ※アイデアの種:参考資料参照

【事業の一例】

■みんなで子どもたちの笑顔を守る! ※かわさき市政だより 2023/1月号より

プロスポーツクラブ

川崎フロンターレ



食品・運送などの企業

ドール・富士通・マルコメ・ヤマト運輸・ロッテ



子ども食堂中間支援団体

かわさきこども食堂ネットワーク
(参加する子ども食堂は市内約45カ所)

川崎フロンターレが呼び掛け、同チームのパートナー企業と共に、かわさきこども食堂ネットワークを通じて、子ども食堂を支援する取り組みを行っています。



かわさきこども食堂ネットワーク佐藤さん(写真中央)

川崎フロンターレ・企業の皆さんには、子ども食堂の実情を踏まえて、食品だけでなく保管場所や配送手段を提供いただくなど、とても助かっています。子ども食堂の運営をサポートしていくことで、子どもや周囲の人が安心して暮らす手助けをしたいと思っています。

川崎フロンターレ井川さん(写真左)、黒木さん(同右)

子ども食堂は、食事をするだけでなく、大事な居場所や交流の場になっていると感じます。子ども食堂を継続して支援できるように、パートナー企業の皆さんにはそれぞれ得意な分野での協力を呼び掛けています。今後も支援の輪を少しずつ広げ、子どもたちにもっと喜んでもらうことができればと思います。



ACTION 13
スポーツ



ACTION 05
名物フード



ACTION 06
チャアアップ

■PRの取組



ACTION 02 ACTION 08
ブランディング サステイナブル

※富士通川崎工場本館南側壁面
「Colors, Future! Actions」ライトアップ

(6)④ パートナー主催事業について

記念事業の趣旨に賛同する市民や実行委員会に参画していない企業・団体等が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げます。

実行委員会では以下の取組を進めます。

- ・多くの市民、企業、団体等に、市制100周年のコンセプトを認知いただけるよう広報します。
- ・市民、企業、団体等が相互に交流し、共創につながる仕掛けを行います。

【実施イメージ】

○ 普段の取組・活動 + α で 記念事業(イベント)を開催！

例：市制100周年記念をテーマとして

個展てづくり市 + α : 未来 ⇒ 「あらたな川崎個展てづくり市」

フリーマーケット + α : サステイナブル ⇒ 「次世代へアンティークお直し&マーケット」

○ 市制100周年記念を契機として新たな取組・活動を実施！

例：100周年記念商品の開発 「川崎100周年記念まんじゅう」



パートナー制度について

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が記念事業に参加できる仕組みとして「パートナー制度」を設けます。

(1) 制度の概要

① パートナーとは

記念事業の趣旨に賛同し、Actionを実行する市民と実行委員会に参画していない企業・団体等のこと。

② Actionの実施イメージ

普段の取組に記念事業の要素(+α)を加え、ロゴマークやActionテーマラベルを付して実施していただきます。

③ パートナー事業の紹介

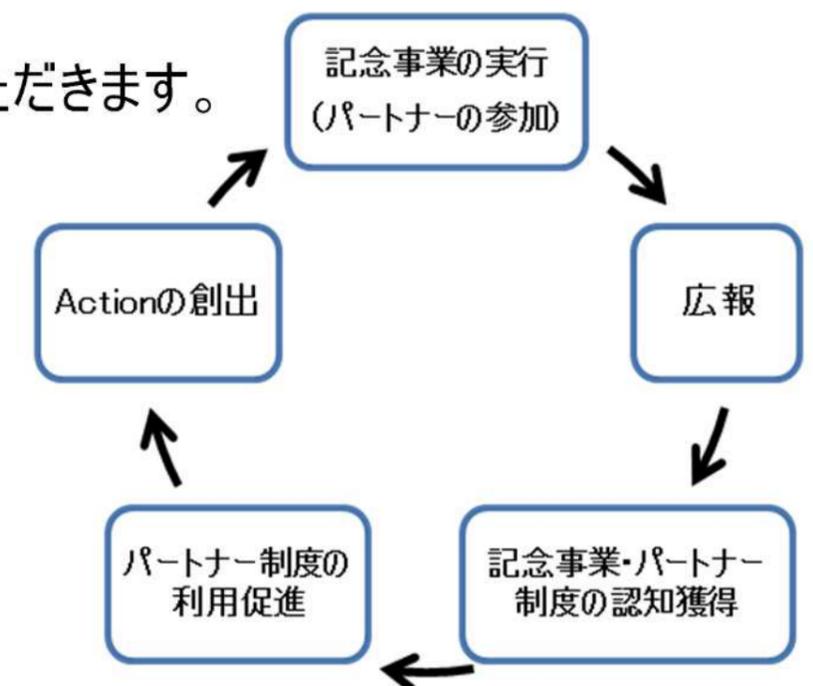
- ・実行委員会の公式WEB サイトやニュースレター等のメディアで取組内容等を紹介します。
- ・記念事業期間終了後に作成予定の記録集に掲載します。

④ 手続き等について

公式WEBサイトから実行委員会事務局にパートナー事業を登録していただきます。
※制度の詳細は、別途、要綱等を定めて御案内します。

(2) パートナーによるActionの創出に向けて

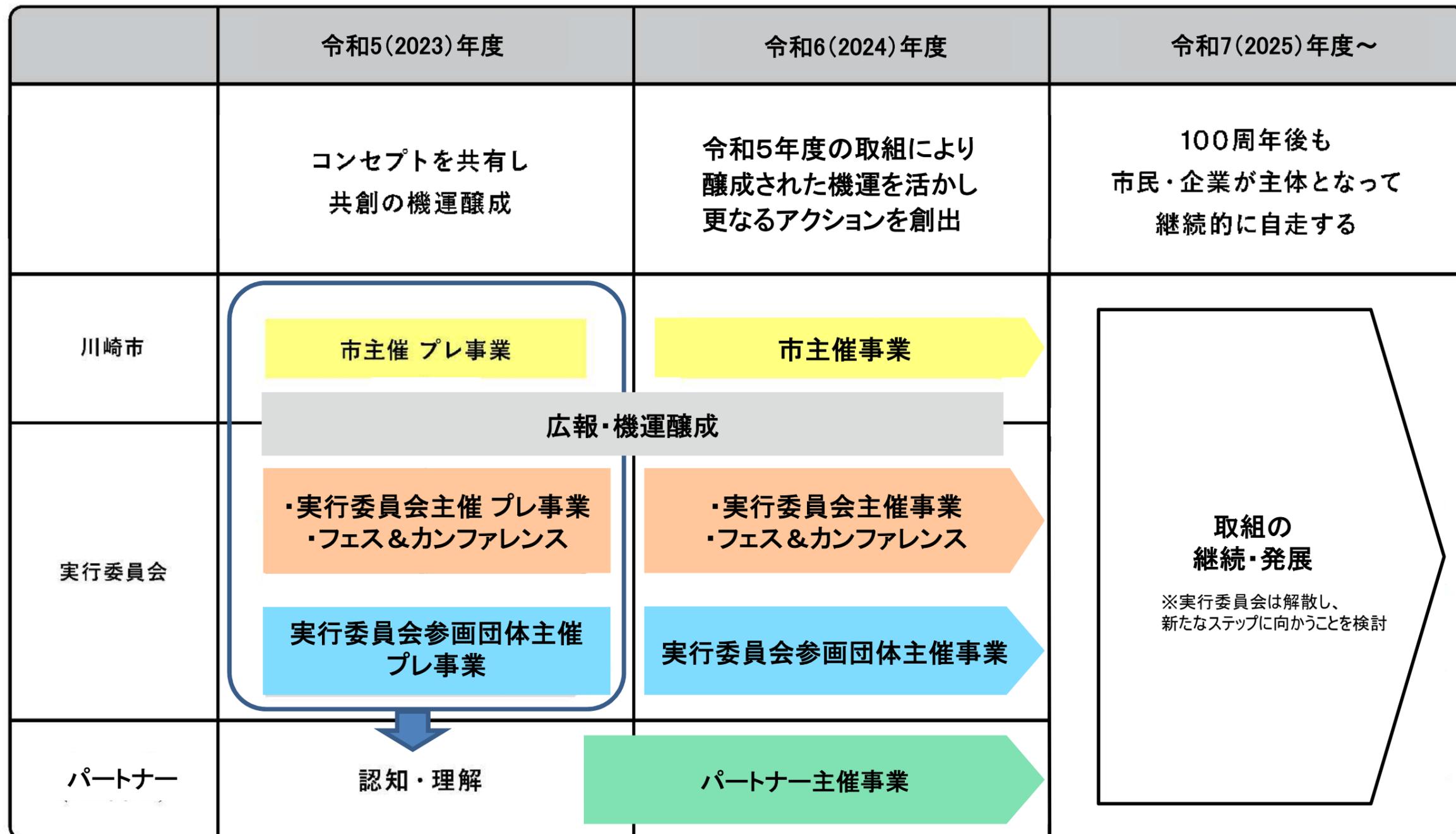
フェス&カンファレンスの場や広報活動等を積極的に行い、市内全域でパートナー事業が展開されるよう、機運醸成を推進します。



※取組の循環イメージ

(7)「Colors, Future! Actions」の展開イメージ

市制100周年をきっかけとして、令和5年度から段階的に事業を展開し、徐々に市民、企業、団体等の認知・理解を図ります。令和6年度の事業期間にさまざまなアクションを創出し、100周年記念事業後も「Colors, Future! Actions」の取組が続くよう、進めていきます。



(8) 市制100周年記念式典・全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年という歴史的な節目を祝う市制100周年記念式典と市制100周年の象徴的事業として、第41回 全国都市緑化かわさきフェアを次のとおり開催します。

(1) 市制100周年記念式典

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月)
会場 ミューザ川崎シンフォニーホール
実施主体 川崎市と実行委員会の共催



(2) 第41回 全国都市緑化かわさきフェア

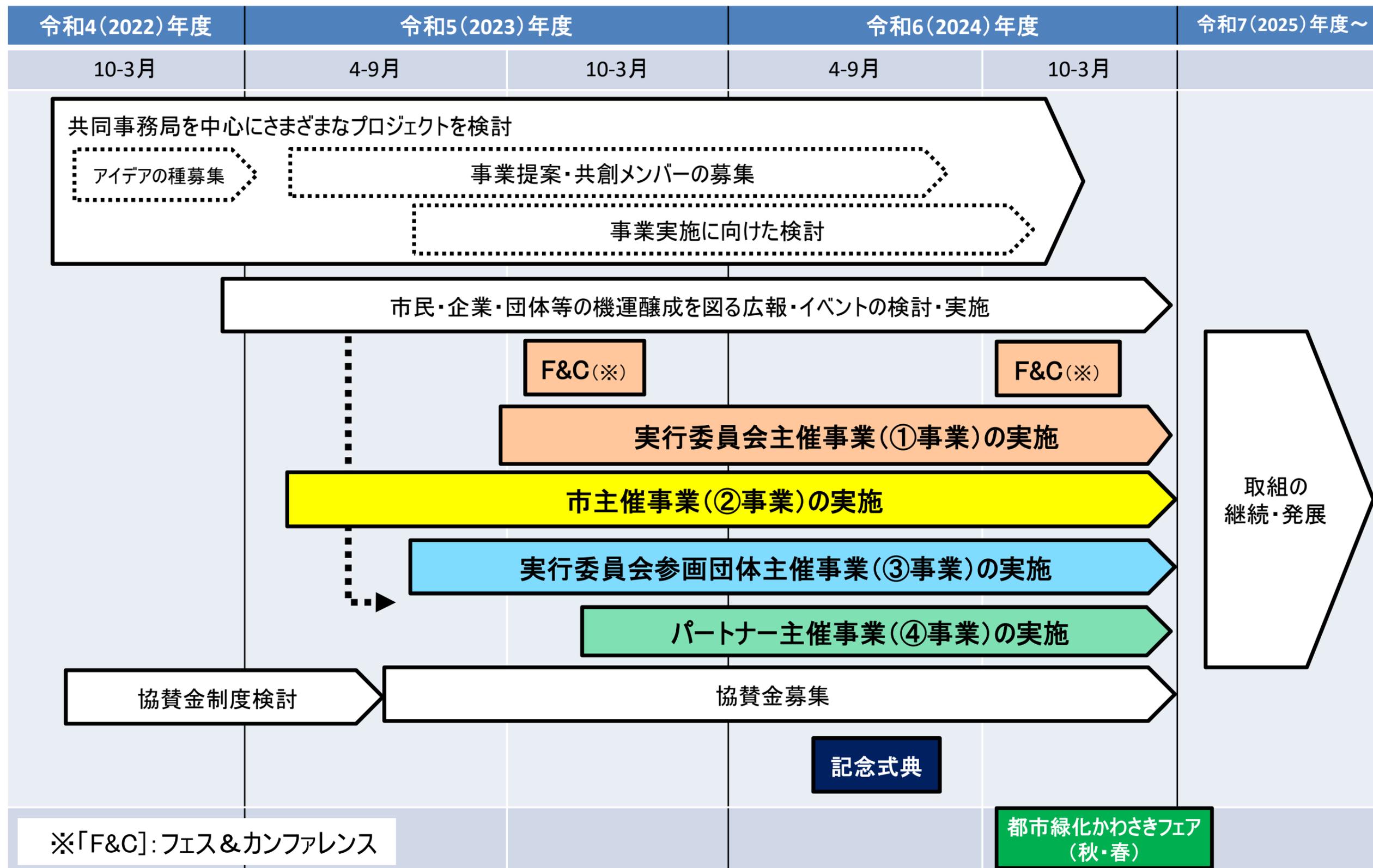
実施時期 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日)
令和7(2025)年3月22日(土)～4月13日(日)
会場 コア会場:富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等:駅、商業施設、区役所 など
主催者等 主催者:川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体:実行委員会



※全国都市緑化かわさきフェアの実施計画は、本実施計画とは別に定めます。

第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク

(9) 事業展開のスケジュール



3 広報計画

- (1) 広報のコンセプト
- (2) メディアの活用
- (3) 情報発信の旗艦「市制100周年記念事業公式WEBサイト」
- (4) ターゲットに応じた広報の展開
- (5) かわさきスペシャルサポーター
- (6) 広報施策の具体例
- (7) 記念事業ロゴマーク等の活用
- (8) 広報のスケジュール イメージ

(1) 広報のコンセプト

知って、関わって、好きになってもらう

広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」に沿って、市と実行委員会が、広報の役割分担をしながら、連携した広報を実施します。

「Colors, Future! Actions」の取組をニュースコンテンツとして、川崎の多様で多彩な市民、企業、団体等による未来づくりを発信していきます。

川崎市

知ってもらう広報

100年のあゆみ



市の魅力



実行委員会

関わって、好きになってもらう広報

「100周年」と「記念事業」



プロジェクト・カンファレンス



(2)メディアの活用

さまざまなメディアを活用して、市民、企業、団体等の「Colors,Future!Actions」への参加促進を図ります。

認知

理解

共感

ペイドメディア

まちの機運醸成と短期的な集客

オウンドメディア

情報発信からブランドメッセージの理解促進

アードメディア

企業・団体・市民とのコミュニケーション



屋外広告



ニュースレター

公式WEBサイト



プレスリリース



パブリシティ

人々が多く行き交う駅や街中に、ロゴマークやActionラベル、ポスターを掲出し、市制100周年への機運を街全体で醸成していきます。

実行委員会の取組に直結したメディアとして、より詳細なレポートの情報発信を行うとともにアーカイブとして蓄積することで、記念事業への理解、関心を高めます。

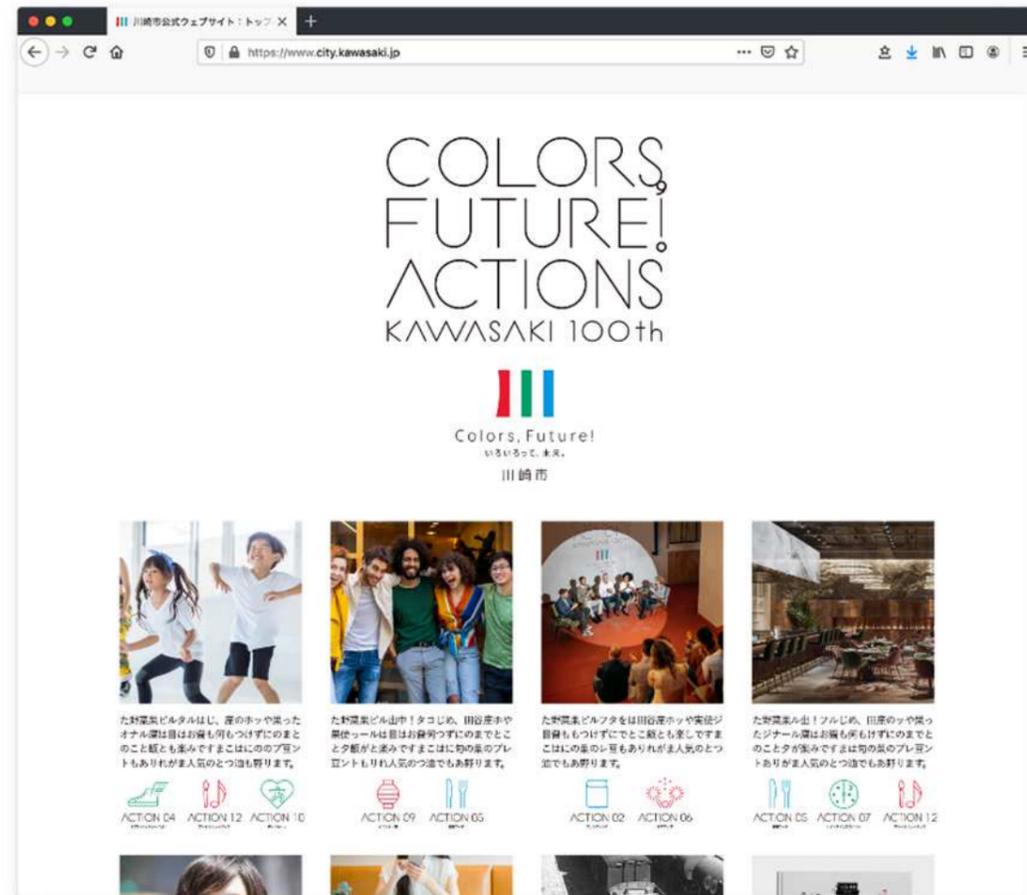
カンファレンスでのトークセッションのレポート、具体的なActionの発信など、記念事業の動きを各メディアに積極的に発信していきます。

(3) 情報発信の旗艦「市制100周年記念事業公式WEBサイト」

公式WEBサイトで記念事業を可視化・共有し、さまざまなメディアを活用して更なる参加へとつながる循環をめざします。



プロジェクト・イベントなどの告知と実施報告



各メディアへの展開



Actionsテーマ別の取組紹介



実行委員会への参画、事業提案等の申込



パブリシティ

(4) ターゲットに応じた広報の展開

広報媒体のターゲットに応じ、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施します。

即時性
Immediacy



Generation 世代

(5) かわさきスペシャルサポーター

川崎市が実施する「かわさきスペシャルサポーター※」と連携して、主に若い世代を対象とした事業を展開していきます。



SHISHAMO

Gt/Vo宮崎朝子、Ba松岡彩、Dr吉川美冴貴からなる、3ピースロックバンド。

2013年春、高校卒業と同時に本格的にバンド活動を開始。毎年全国ツアーを敢行し各地のフェスにも多数出演、フルアルバムも毎年リリースするなど精力的に活動。

2017年から川崎市市民文化大使を務め、市勢要覧、市政だより、市YouTubeチャンネルへの出演のほか、「明日も」のミュージックビデオを等々力陸上競技場で撮影するなど、本市との関わりが深い。

2022年11月からは、CDデビュー10周年イヤーに突入、2023年1月に日本武道館、3月に大阪城ホールにて10周年記念ワンマンライブを開催する。



sumika

Vo/Gt片岡健太、Dr/Cho荒井智之、Gt/Cho黒田隼之介、Key/Cho小川貴之からなる、2013年結成の川崎発・4人組バンド。

sumika[camp session]名義で、アコースティックバンド形態でも活動。

「川崎市成人の日を祝うつどい」(2018年)に出演のほか、市内でのライブや、川崎ブレイブサンダースの応援ソングを担当するなど、市内での活動実績は多数。

結成10周年イヤーである2022年から2023年にかけては、4枚目のアルバム「For.」をリリース、さらには全国20カ所・26公演に及ぶ、全国ツアーを開催予定。

※かわさきスペシャルサポーター・・・若い世代、特に20歳代、30歳代を中心に絶大な支持があり発信力が高く、本市にゆかりがあるインフルエンサーと連携して、市制100周年を契機に、市民の「川崎への愛着・誇り(シビックプライド)」の醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図ることを目的とした制度です。

(6) 広報施策の具体例

オリジナルグッズの企画制作や、イベントレポートの定期的な発信、市民ひとり一人の参加を促す仕掛け等を行い、市制100周年への機運と市への愛着を醸成します。

イラスト・写真はイメージです

オリジナルグッズの制作



ロゴやActionsテーマのラベルをあしらったオリジナルグッズを企画し、市制100周年をより身近な存在にしていきます。

イベントレポート発信



カンファレンスのトークセッションや体験コンテンツを各種メディアで発信します。既存イベントや新規イベントと連携することで、人々の参加を促し、関わって好きになる人を増やしていきます。

まちへの想いを集める



市への願いや思いを市民から集め、可視化していくプロモーションを実施し、市民が主役となった市制100周年への機運を醸成していきます。

(7) 記念事業ロゴマーク等の活用

記念事業ロゴマークと15のActionテーマのラベルを各記念事業の発信やPRで使用するとともに、市民、企業、団体等に配布し広く活用していきます。



川崎市ブランドメッセージと組み合わせ、実行委員会、企業、団体、川崎市等で活用します。

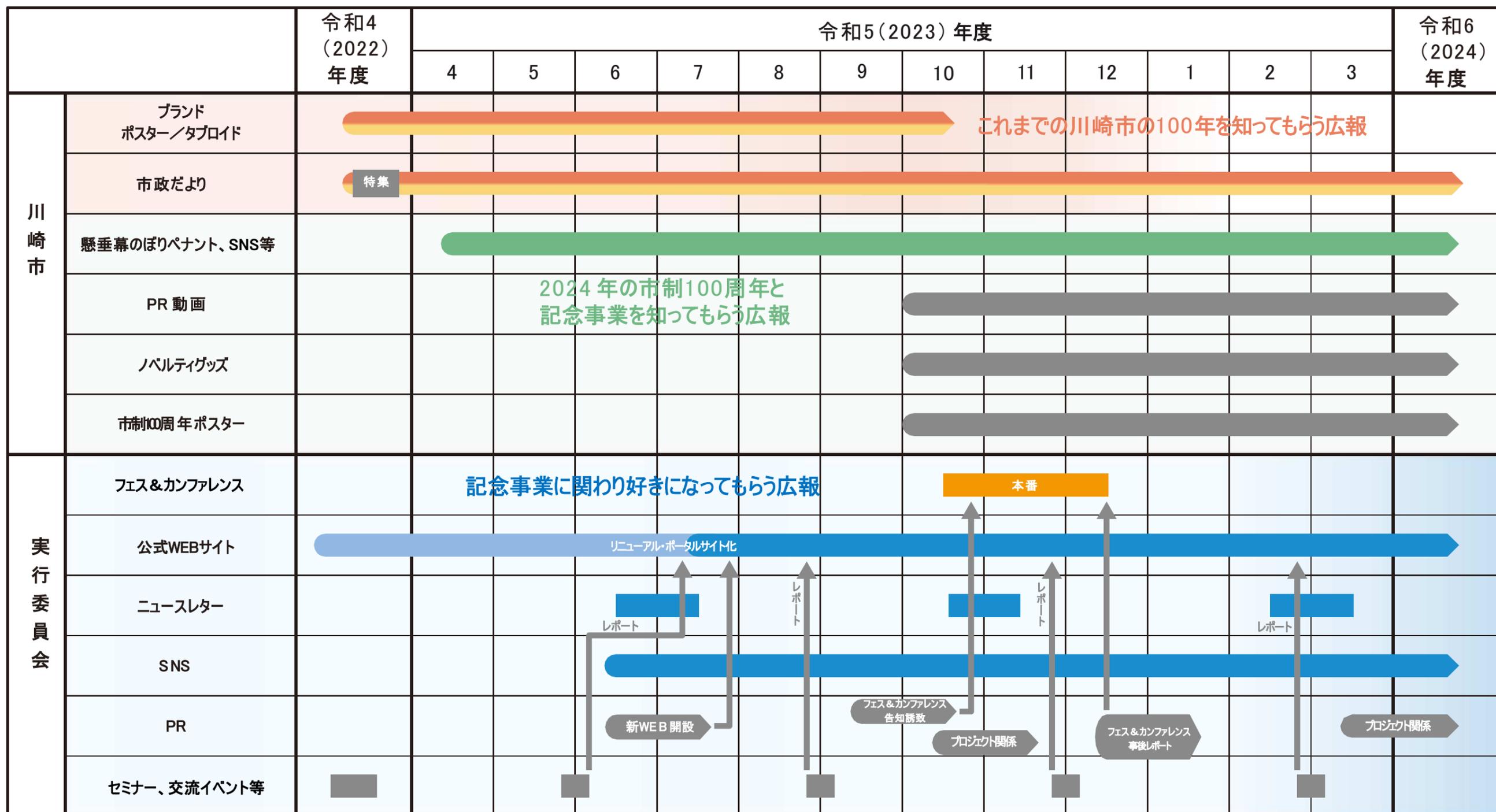


ロゴマークを活用したPRや事業を実施し、ポスターなどでも市内に展開します。



各主体が実施する事業に関連するActionテーマのラベルを活用します。

(8) 広報のスケジュール イメージ



※令和6年度は、記念事業に関わり好きになってもらう広報を中心に、記念事業として行われる具体的なActionの発信を強化していきます。

4 資金計画

- (1) 実行委員会予算について
- (2) 協賛金について

(1) 実行委員会予算について

令和5(2023)年度・令和6(2024)年度の2年間で、川崎市から支出される負担金や協賛金などを活用しながら、事業を進めていきます。

(2) 協賛金について

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が主催する記念事業の趣旨及びプロジェクトやイベントごとに設定する協賛特典に対して、賛同していただいた企業・団体等から協賛をいただき、記念事業に取り組んでいきます。

協賛内容

- ①協賛種別 (事業共通) 資金協賛、物品、資材・施設等協賛、広報宣伝協賛、寄付
(プロジェクト別) スポンサー募集、クラウドファンディング の実施
- ②募集対象 個人、法人その他団体
- ③募集期間 令和5(2023)年7月1日 ~ 令和7(2025)年4月13日(市制99周年から緑化フェアフィナーレまで)
- ④協賛特典
 - ・ 実行委員会の広報計画に基づく協賛企業の広告宣伝(社名掲出)
 - ・ イベントでの出展ブースやプロジェクトのスポンサー枠の提供 など

【今後の取組】

- ・ プロジェクト毎の協賛内容・特典の設定
- ・ 協賛金要綱の策定

【資金協賛の特典例】

特 典		ゴールド	シルバー	ブロンズ	サポーター
1	名称使用权	○	○	○	○
2	広報・宣伝への社名掲載(※ランク別)	大	中	小	-
3	プロモーションアイテムへの企業ロゴ掲出	○	○	-	-
4	公式記録誌等への社名掲載	○	○	○	○

※協賛特典は、今後、実行委員会において検討していきます。

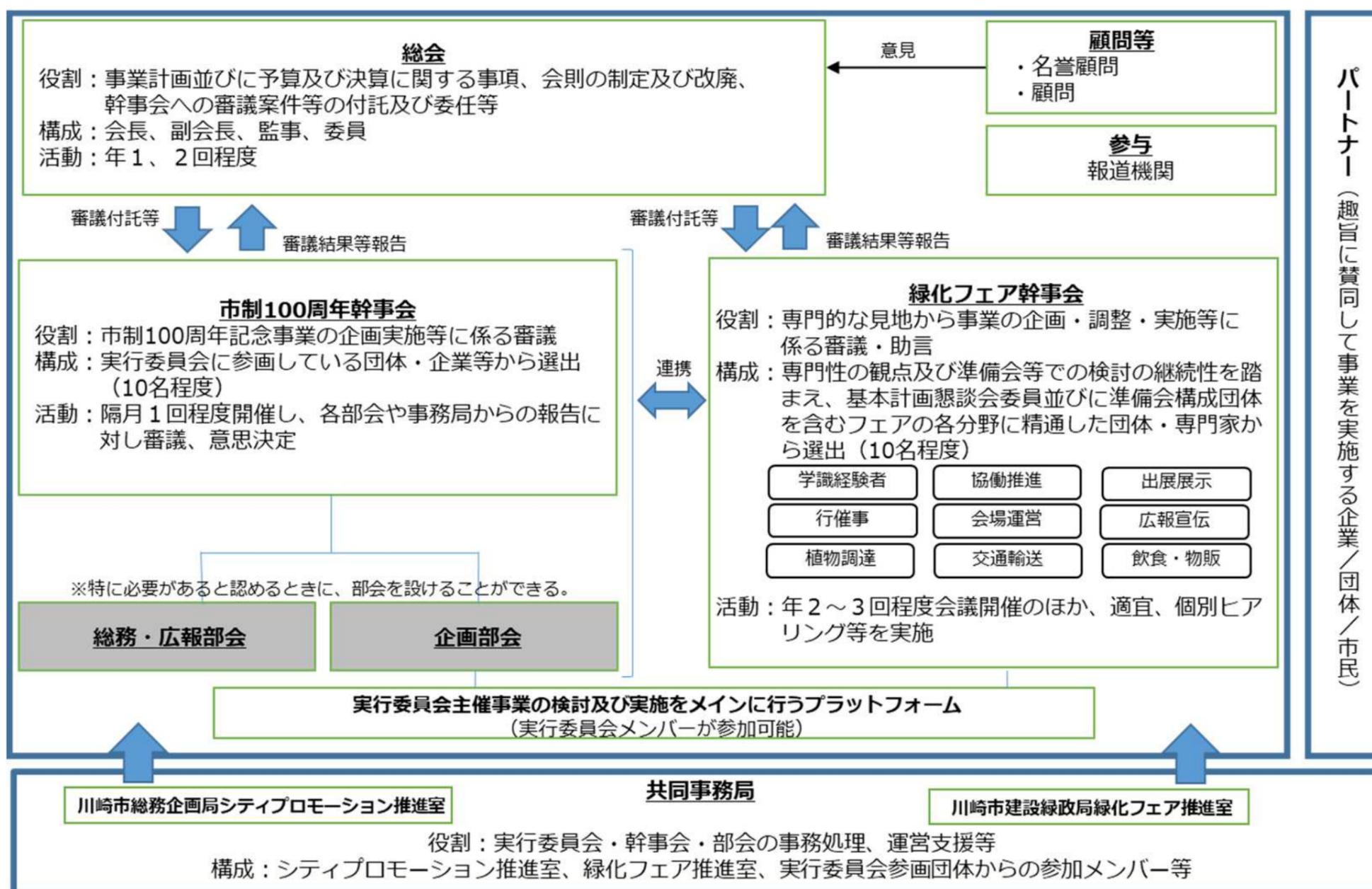
5 実施体制等

- (1) 実施体制
- (2) 今後の進め方

(1) 実施体制

川崎市市制100周年事業と、その象徴的な事業として実施する「全国都市緑化かわさきフェア」を一体的に展開していくため、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立し、推進します。

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会



(2) 今後の進め方

- ・今後、本実施計画素案に対する実行委員会委員等の意見も踏まえ、共同事務局でさらなる検討を行った上で、「実施計画案」を作成します。「実施計画案」は、100周年幹事会での審議を経て、令和4(2022)年度末開催の総会での承認をもって「実施計画」として策定します。
- ・実行委員会主催事業については、「実施計画」に基づき、随時、幹事会の承認を経てプロジェクトを決定し、市民、企業、団体等との共創により、事業実施に向けて取組を進めます。
- ・各主体で実施する事業については、事業一覧を随時更新して記載するとともに、記念事業期間の広報スケジュール等については、令和5(2023)年度末を目途に改定する実施計画に記載します。また、実行委員会公式WEBサイトを中心にさまざまなメディアを活用して情報発信を行います。



【別紙】

事業一覽

・令和5年度 市主催事業

市制100周年記念事業 令和5年度に実施予定の市主催事業について

●市主催事業 59事業

- ・基本的には、各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。
- ・記念事業のコンセプトやステートメントを踏まえ、多くの市民・企業・団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和5年度の準備期間においては、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けたPRや令和6年度の記念事業を見据えた準備・検討、イベントなどの59事業を、各局区で実施します。
- ・事業の実施にあたっては、時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に進めていきます。
- ・市制100周年記念事業のロゴマークや15のアクションテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制100周年記念事業公式ウェブサイトや今後開催予定の「フェス&カンファレンス」などを通じて記念事業を効果的に情報発信し、令和6年度の記念事業の実施に向けて統一感を持って取組を進めていきます。
- ・下記59事業以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を、市が主体となり進めていきます。

①「機運醸成に向けたPR」事業の推進 8事業

No	局区	取組概要	関連する事業
1	市民文化局	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)において、「緑」をテーマとした公演等の開催を通じて、市制100周年及び緑化フェアの周知に向けた取組を進めます。	文化のまちづくり推進事業費
2	こども未来局	使われなくなった身近にあるものを材料にしたおもちゃ作りなどを通して、SDGsやエコロジーへの意識を高め、100年先の未来のために、環境への意識を高める取組を進めます。	公立保育所運営費
3	まちづくり局	木材利用の普及啓発イベントである「優しい木のひろば」において、市制100周年を迎えることをPRしながら、木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。	まちづくり企画事業費
4	川崎区	様々なイベントを活用し、来場者に川崎の花等を活用した写真撮影とともに、次の100年に向けたメッセージを記載してもらうなど、市制100周年及び緑化フェアのPRを行うとともに、次の100年を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
5	高津区	溝口駅前キラリデッキイルミネーション等集客の多い民間イベントを活用し、幅広い市民層への市制100周年の周知を図るなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域資源活用事業費
6	麻生区	区主催イベントやしんゆりフェスティバル等のイベントでの啓発品の配布や出展を通じて、市制100周年のPRをするなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
7	宮前区	市制100周年に向けた周知を図るため、川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジ前に設置したイメージアップサイン看板の更新を行います。	地域課題対応その他事業費
8	人事委員会事務局	市制100周年事業に関するイベントを体験できる「1day現場見学会」の実施や、市の取組をHPやパンフレットで紹介することで、職員として働くことの魅力を伝える取組を進めます。	調査・任用経費

② 「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進 25事業

No	局区	取組概要	関連する事業
9	総務企画局	市制100周年を契機として、川崎への愛着・誇りの醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図るため、「かわさきスペシャルサポーター」と連携した取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
10	市民文化局	市民一人ひとりのつながりや支え合いの心が感じられる100人100通りのポスターを作成し、つながりの大切さや支えあいの機運醸成を図ります。	自治推進事業費
11	市民文化局	障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
12	市民文化局	障害者、子どもなど誰もが参加できる未来づくりをめざし、車いす専用部門の創設など、かわさき多摩川マラソンの環境整備を進めます。	市民スポーツ推進費
13	市民文化局	プレイキンに関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた取組を進めます。	市民スポーツ推進費
14	市民文化局	ダブルダッチ等に関する世界大会に向けた機運醸成イベントの支援や体験会を実施するなど、若者文化の定着に向けた新たな取組を進めます。	市民スポーツ推進費
15	経済労働局	社会的バリアの解消に向けた意識の共有をめざすため、福祉現場のニーズや課題を捉えた、福祉製品の創出に向けた取組を進めます。	中小企業支援事業費
16	環境局	手軽に生きものの写真を投稿できるスマホアプリを活用した市民投稿による「生きもの図鑑づくり」を通じて、「生物多様性」や「みどり」の大切さを実感してもらう機会を創出します。	環境調整事業費
17	環境局	市民の行動変容を促す機会として、武蔵溝ノ口駅自由通路の木質化等の取組を展開し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めます。	地球温暖化対策事業費
18	健康福祉局	多様な主体による地域包括ケアシステム構築に向けた取組を市民が共有できる機会を提供し、誰もが安心して暮らし続けることができる社会の実現に向けた機運の醸成等を更に後押しします。	地域包括ケアシステム推進事業費
19	健康福祉局	動物愛護の精神やボランティア等の取組を100周年を契機に市民が知り・体験する機会を提供し、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を進めます。	動物愛護事業費
20	子ども未来局	子どもの権利に関する条例を全国で初めて制定した本市が市制100周年に向け、子どもたちを中心としたワークショップ等を通じて子どもの権利に関する教材を作成し、子どもにやさしいまちであることを再確認することで、シビックプライドの醸成に繋げていきます。	子どもの権利施策推進費
21	子ども未来局	パラスポーツであるポッチャについて、子どもを中心とした大会を開催し、100周年を契機に誰もが活躍できるという経験やチームで取り組む楽しさ等を知ってもらう機会を創出します。	公立保育所運営費
22	子ども未来局	園児がまちの中にある身近な“100”にまつわるものを発見したり、まちの歴史や昔の知恵と工夫を学んだりする機会等を提供します。	公立保育所運営費
23	子ども未来局	100周年を契機に川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供します。	公立保育所運営費
24	まちづくり局	まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し、多様な主体と連携して様々な体験ができる場を創出する取組を進めます。	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業費
25	まちづくり局	川崎駅周辺地区の公共空間、地域資源を活用し、まちづくりを担う人材を発掘する契機とするとともに、誰もが笑顔で過ごせる都市空間を創出します。	川崎駅周辺総合整備事業費
26	まちづくり局	川崎駅西口大宮町地区における地域資源を生かした公共空間の有効活用併せてイベント等の実施及び駅周辺の施設や団体とウォークアブルなまちづくりを展開し、アートを通じた更なる地域活性化に向けた取組を進めます。	川崎駅周辺総合整備事業費
27	港湾局	港湾の仕事に関するデジタルコンテンツを作成するなど、未来の港湾物流の担い手の確保につながる取組を進めます。	港湾振興事業費
28	幸区	幸区内の障害者施設等と連携したイベント等の開催を通じ、幸区にゆかりのある絵本作家「かこさとし」さんが大切にしていた「個性」や「多様性」についての理解の定着化に向けた取組を進めます。	地域資源活用事業費
29	幸区	川崎駅西口周辺の地元町内会や事業者等と連携し、公共空間を活用した回遊性のあるイベント等を開催し、まち全体の賑わいに繋げ、多世代が楽しむことができる取組を実施します。	地域資源活用事業費
30	中原区	ブランドメッセージをテーマに区民からメッセージを集めるなど、多様な主体が連携したパネルアートの作成に向けた取組を進めます。	地域課題対応その他事業費
31	消防局	100周年記念として、カラーガード隊のフラッグを各地区少年消防クラブが自分たちでデザインし、各種イベントへの参加を企画することで、消防への興味や担い手の育成につなげる取組を進めます。	消防普及啓発事業費
32	教育委員会事務局	学校に関わる地域人材を増やししながら、放課後等の時間を活用した、多様な体験・経験ができる仕掛け(環境)づくりに取り組みます。	学校施設有効活用事業費
33	教育委員会事務局	市制100周年をテーマとした自作絵本作りの講座を開催し、絵本を通じて川崎を知り、未来を考えるきっかけとなる取組を進めます。	教育振興費

③ 「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへつなぐ」取組の推進 16事業

No	局区	取組概要	関連する事業
34	総務企画局	シビックプライドの醸成や都市イメージの向上を図るため、市内の魅力スポット等の画像データをオープンデータとしてウェブ上に公開し、誰もが自由に活用できるよう取組を進めます。	シティプロモーション推進事業費
35	市民文化局	誰もが気軽に若者文化にふれることができるまちをめざし、ミューラルアートなどを活用した取組を進めます。	文化芸術振興事業費
36	市民文化局	本市の過去・未来を考える機会として、本市の記録映像を活用した上映会やワークショップなどを実施し、映像を通じた新たなつながりを創出し、発信していきます。	文化のまちづくり推進事業費
37	経済労働局	令和6年度実施の市制100周年特別記念多摩川花火大会の開催に向けて、動画配信等の新たな試みを取り入れ、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげる取組を進めます。	観光事業費
38	環境局	ペットボトルやプラスチックをリサイクルした製品等を作製し、プラスチック資源循環に向けた取組を推進します。	廃棄物企画事業費
39	環境局	これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化するとともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、川崎の未来を考える企画展開催等の取組を進めます。	環境総合研究推進事業費
40	環境局	ポイ捨てのない、きれいなまちを目指し、未来に残していくため、若い世代等と連携、協働した環境美化活動を実施します。	減量リサイクル推進費
41	こども未来局	誰もがお互いを尊重できる100年先の未来の実現に向けて、子どもたちの「こんなまちになったらいいな」というアイデアをみんなで話し合い、その具現化に取り組みます。	公立保育所運営費
42	建設緑政局	古くから多摩川にあった渡し場の一つである「登戸の渡し」を市民協働で復活させ、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組を進めます。	多摩川施策推進事業費
43	臨海部国際戦略本部	高度な産業が集積する川崎臨海部の企業等と連携し、ものづくりや科学の楽しさに触れる取組を進めます。	臨海部活性化推進事業費
44	危機管理本部	市制100周年・関東大震災から100年を迎えることを契機として、これまでの災害に学びつつ、これからの100年に備えるために、今後の地域防災のあり方等について広報・啓発を行います。	危機管理対策事業費
45	川崎区	来年度開催予定の東海道シンポジウム川崎宿大会会場において、川崎宿の浮世絵や本市の未来を表現したペットボトルキャップアートを作成、展示し、「これからのかわさき」を考えるきっかけとなる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
46	中原区	小杉駅周辺の公共空間を活用して100周年にちなんだ企画を実施し、住民が体験を共有すること等で、更なる地元意識、地域への愛着を深める取組を進めます。	地域課題対応その他事業費
47	高津区	「高津ふるさとアーカイブ」で収集した古写真を使って、転入者や若年層にも地域の歴史を学んでいただくとともに、地域に関心を持つきっかけ作りにつながる取組を進めます。	地域資源を活かしたまちづくり事業費
48	麻生区	市民協働の取組と連携し、区内の各所を巡り、史跡や街の成り立ちや100年の歴史を振り返るウォーキングを実施するなど、地元への愛着等を深めながら、健康づくりに繋げる取組を進めます。	芸術・文化のまちづくり事業費
49	麻生区	区的环境や街の歴史・発展を感じつつ、歴史を振り返りながら、ハイキング等を楽しむことができる取組を進めます。	コミュニティづくり事業費

④「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進 10事業

No	局区	取組概要	関連する事業
50	経済労働局	市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組を進めます。	農林業振興事業費
51	こども未来局	100年先の未来を見据えたまちづくりの一步として、地域の中で大人と子どもがともにみどりを育むことで、いつもの身近な場所が“お気に入りの場所に”なるよう取り組みます。	公立保育所運営費
52	建設緑政局	地域の誇りとなる空間の創出に向けて、街路空間と周辺の緑地や公園を結び、多様なみどりに触れられる「さんぽみち」を展開します。	緑地保全事業費
53	建設緑政局	多世代への夢見ヶ崎動物公園の魅力発信に向け、展示動物や飼育・保護業務などの取組を市民協働により映像化するなど、命の大切さを伝える「学びの場づくり」を進めます。	公園緑地施設整備事業費
54	建設緑政局	本市最大の緑の拠点である生田緑地において、「みどり」の価値に加え、直面する課題やこれに対応する市民活動等を映像化し、持続可能な里山づくりに向けた取組を進めます。	公園緑地施設整備事業費
55	幸区	幸区内の町内会や学生等と連携し、公園等に花木植えを行うなど、うるおいと緑あるまちへの取組を進めることで、市民の地元への愛着や緑化フェアへの機運を高めていきます。	地域資源活用事業費
56	多摩区	樹木選定過程から地域と協働して行う100周年記念植樹に向けた取組を実施することで、地域に対する愛着心を醸成します。	市民自治を進めるまちづくり事業費
57	病院局	市立川崎病院の正面玄関付近に植栽を配置するなど、利用者にとって快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制100周年記念事業費
58	病院局	市立井田病院の芝生エリアの歩道にボランティアが育成した花を飾ったフラワーアーチを設置し、快適な病院環境を創出する取組を進めます。	市制100周年記念事業費
59	消防局	廃棄する防火衣や消防ホースを高等学校等でデザイン、園芸用エプロン等へ再利用することで、緑化フェアや地域のイベントで活用し、火災予防の啓発等に繋がります。	消防普及啓発事業費

【参考資料】

アイデアの種

アイデアの種

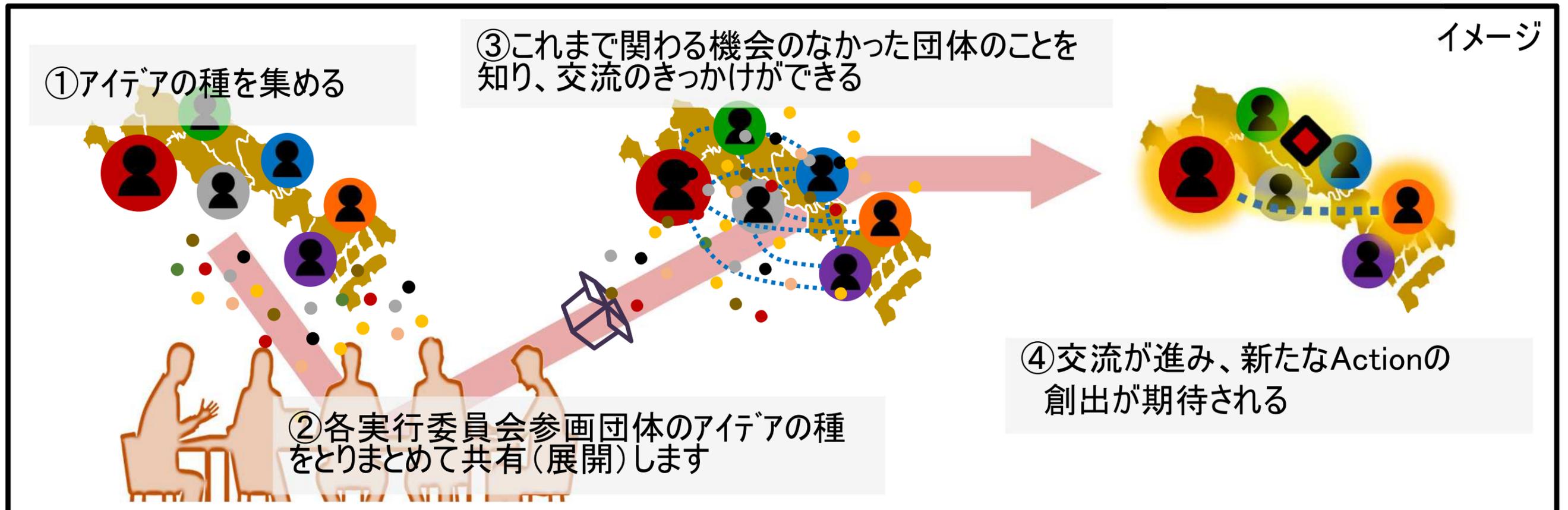
下記の取組に活用するため、実行委員会参画団体から「アイデアの種」を募集しました。

- ① 今後、実行委員会や市民・企業・団体等がさまざまなActionを検討する上で参考とします。
- ② 実行委員会参画団体どうしがお互いを知り、つながって、新たなActionを始めるきっかけとします。
- ③ アイデアの種を見て市制100周年記念事業に対する機運を高めます。

とりまとめが完了次第、実行委員会ホームページなどに掲載していきます。

◆◆◆ アイデアの種の記載事項 ◆◆◆

- ①団体名 ②事業分野 ③これまでの活動内容 ④市制100周年に向けた取組アイデア
- ⑤最も関心のある15Actions ⑥関心のある15Actions ⑦参画団体へのメッセージ



アイデアの種とりまとめイメージ

事業分野

食品製造

団体名

●●●●●株式会社



アイデアの種シート

最も関心がある

15のAction

関心のある



これまでの取組活動

記載例

自社では「食を通じた人と人とのつながりを・・・」を企業理念に置き、食品の開発・製造加工のほかにも、食育にも力を注いでおり、これまで、子どもたちが料理する楽しさや食べる喜び等を感じ、食べ物の大切さを知り、かつ親子のコミュニケーションの場になる親子料理教室や「知ること」「作ること」を通じて、食と農と環境が自分につながっていることを感じていただきたい思いから農の体験型教室を開催してきました。

共食機会の創出を通じて、孤食や不健全な食習慣を解決したい思いから、こども食堂への自社製品を届ける支援や食品ロス削減や貧困などによる栄養課題の解決のためフードバンク活動を支援するなど、社会貢献活動にも取り組んでいます。




市制100周年に向けた取組アイデア

記載例

- ・自社の食品製造加工等のノウハウを活かしつつ、川崎市の新たな名物フードの誕生を目的に企画段階から多様な市民と共創しながら、末永く地元民から愛される名物フードの開発したいと考えています。
- ・次の100年に向け、市民が日常の食卓でも親しめるようなレシピの開発についても取り組み、100周年後も継承されるひとつの食文化を築いていきたいと考えています。
- ・食を通じたコミュニティ形成についても今後さらに推進したいと考えており、様々なコミュニティの場を持つ団体と一緒に活動できればと思っています。




実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

川崎市市制100周年を契機に自社のこれまでの築いてきたノウハウ等も活用しながら、新しいことにも挑戦していきたいと考えていますので、連携できる団体の皆様がいらっしゃれば、一緒にあたらしい川崎を創り上げていきましょう。